

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	なないろ初伝舎 【単位2児発】		
○保護者評価実施期間	R8年 3月 1日 ～ R8年 3月 26日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	9
○従業者評価実施期間	R8年 3月 9日 ～ R8年 3月 26日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12 (回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職員が在籍しているのでお子様、保護者様のニーズに沿った専門的な支援が実施出来る。	言語聴覚士や公認心理師、作業療法士や理学療法士が在籍している事によって、お子様の状況に合わせて必要な専門的な支援を提供する事が出来る。 また、職員研修も毎週定期的に行う事で職員の資質の向上を行っている。	今後も、お子様の状況に合わせて、その時に必要な専門的支援を提供できるように環境整備を行っていく。 引き続き研修を行う事で職員1人ひとりの知識や資質を向上していく。
2	広いスペースを確保している事によって部屋の使い分けが出来る為、個別療育、小集団、集団等、お子様に合わせた環境で療育が出来る。	個別療育では、手厚いサポートを行い、大人数での環境が苦手なお子様でしたら小人数制での活動に参加して頂いたり、集団行動でのスキルを身に付けたい際には集団での活動に参加して頂いたり等、お子様のニーズに沿った部屋の使い分けを行う。	今後もお子様や保護者様のニーズに沿った部屋の使い分けを行えるよう、定期的に環境整備を行う。
3	お子様の良い所、出来た所をたくさん見つけて職員間で共有を行い、統一性のある支援を行っている。	なないろ初伝舎では、お子様の良い所、出来た事をたくさん見つけて褒める事で統一性のある支援を行い、お子様の自信や得意分野を伸ばしていきながら苦しい事にもチャレンジ出来るように自己肯定感の向上を図っている。	今後もお子様の良い所、出来る事に重点を置きながら自信を持って成長して頂けるようサポートを行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様へのフィードバックが不十分	・時間帯によってはフィードバックが難しい場面がある。 ・職員の連携不足によるフィードバックの内容に不明瞭さがある。 ・伝え方に問題がある可能性がある。	フィードバックや振り返りについては、保護者様から多くのご意見を頂いているので、職員間で迅速に見直しを行った。 時間帯によって難しい場合は、次回のご利用時に合わせてお伝えをしたり、情報共有のツールの活用の検討を行っている。 送迎を行わない分、保護者様としっかりと連携を取れるよう体制の見直しを行う。
2	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの内容を保護者様に説明が十分に出来ていない。	・年間を通して職員間で研修やマニュアルの見直しを行っているが、保護者様への情報伝達が十分ではない。 ・説明を行う資料等の作成を行っていない。	今回、保護者様から多くのご意見を頂いた事を踏まえて情報伝達ツールの活用を視野に入れ、迅速な対応を心がける。 定期的に説明を行い、共通理解を得る。
3	学校や、保育園、幼稚園との交流や地域活動や他のお子様との活動できる機会が少ない。	・お相手のご都合もあるので中々実施が難しい。 ・お子様の利用時間が限られているので、地域活動の参加が難しい。	今後は、時間や参加人数を振り分ける等の対策を行い、地域活動に参加出来るように体制の見直しを検討する。